

地域が一体となって、自分たちのまちをきれいにする

【常磐南学区】河川美化・草刈活動

《学区データ》

学区名：常磐南学区

世帯数：422世帯

（平成26年3月1日現在）

《団体データ》

団体名：①岩中町

②大井野川を美しくする会

事業開始年度：②昭和57年度



◆取組のきっかけと経緯

岩中町では、長年にわたり町内の全世帯の参加による一斉の道路と河川の清掃を行っています。岩中町の住民の多くが農業従事者であり、もともとは各自で自分の田畑に行くためのあぜ道の草刈を行っていましたが、町民が共同で使用する道も町内で草刈をしようということとなり、自主的な活動として始まったのがきっかけでした。

次に大井野町では、町内全世帯が会員となり活動を行っている大井野川を美しくする会が主体となり、大井野川と川沿いの道路の清掃を行っています。もともと町として道役（道路清掃）は年1回行っていましたが、大井野町も住民の多くが農業従事者ということもあり、大井野川の草刈などは農業の開始に合わせ、各自で行っていましたが、しかし、町としても大井野川をきれいにしようということで、昭和57年5月1日に大井野川を美しくする会を結成し、道役も合わせて年1回清掃活動を行うこととなりました。

◆事業内容

岩中町では、道役を春（6月第3日曜日）と秋（9月最終日曜日）の年2回、河川美化活動（7月第2日曜日）を年1回の計3回町の行事として行っています。活動は、主に草刈機や鎌を使用した草刈や道路にはみ出した枝の剪定をしており、町内の全35世帯が協力して各区域を清掃しています。当日都合が悪い住民も事前に決められた区域を清掃し、町内会が一体となり活動を行っています。また、高齢者のみの世帯も実施日に合わせて違う地域に住んでいる子どもが帰ってきて清掃に参加するなど、町民が高い意識を持って活動を行っています。

また、大井野川を美しくする会では、年1回（8月第4日曜日）美しい川を守るため、川の周りや川沿いの道路の草刈やゴミ拾いを中心に、町内一斉の河川美化活動を行っています。活動には町内の全49世帯が参加しており、各自決められた区域を午前中半日かけて清掃し、午後は公民館で懇親会を行っています。

こうした活動以外にも、役員による河川パトロールや町民が参加する総会などを行い、美し

い大井野川を守り、住みよい町づくりを進めるために努めています。

◆成果

岩中町では、草刈や道路にはみ出した枝の剪定を行うことで、道路の見通しがよくなり、交通安全に役立っています。また、道路は児童の通学路になっているため、安全な登下校をするためにも効果があります。

また、平成25年に市内で放火事件が発生しましたが、定期的に草刈や道路の清掃を行うことで、町内の防犯にも役立っています。

大井野川を美しくする会では、町民が一体となって清掃し、また活動後に懇親会を行うこともあり、町として連携を図ることができ、一体感が高まっています。町内一斉の河川美化活動にも、全世帯の約95%が参加しています。

また、時々川沿いに洗濯機などの不法投棄が見られますが、一度放置すると次々と持ち込まれてしまいます。しかし、こうした清掃活動や河川パトロールを定期的に行い、不法投棄を見つけ次第素早く対処することで、川の景観を保つことができます。

◆今後の展望・課題

岩中町では、今後清掃に参加することが難しい高齢者の1人世帯が増えることが考えられるため、活動の参加者が限られてしまうことが懸念されます。

大井野川を美しくする会では、道路清掃時に側溝の枯葉を清掃していますが、自力でグレーチングを外せず一部清掃ができない箇所があるため、今後の課題となっています。

また、慣例的に町内一斉の河川美化活動は年1回の開催となっていますが、状況に応じて回数を増やす必要もあると思うので、今後回数についても検討していく必要があります。

こんな工夫をしています！

●日程や担当区域を工夫し決めるこ

とで、もれなく地域内を清掃

→ 岩中町では、道役や河川美化活動の日程を決める際に、農作業の繁忙期を調整しながら決めることで、多くの住民が活動に参加することができます。また、担当区域が決まっていることで、当日参加できない住民が事前に清掃することができます。

大井野川を美しくする会でも同様に、日程が慣例的に定まっており、各自農作業に合わせて担当箇所の清掃をしながら、集大成として8月に町内全域を清掃します。

そのため、どちらの町内ももれなく地域内を清掃でき、きれいに保つことができます。

注目ポイント！

●町内の住民が高い意識を持ち、清掃

活動を実施

→ 岩中町も大井野川を美しくする会も、一斉清掃の際には、町内全世帯に参加を呼び掛けていますが、どちらの町内も地域住民の協力により、非常に高い参加率となっています。また、当日都合により参加できない住民も、別の日に決められた区域を清掃しています。

このように、どちらの町内も住民が高い意識を持ち、地域内で連携を図りながら自分たちの生活に欠かすことのできない町内の道路や川をきれいにするための活動を行っており、地域の一体感が生かされています。